



あ、自分にもできる（親近感）活動があるかもしれない（興味・関心）参加してみよう（行動）
そんな会員向け通信を目指しています。



鎌倉ユニット ～鎌倉会と両輪で地域に根差す

菅原さんには鎌倉ユニットの世話人と鎌倉会代表の二つの顔がある。

前者は、真瀬宏司さん、平尾公司さん、平井隆一さんを中心に地域保全などDFの趣旨に沿う活動を実現すべく発足した組織。

後者は、鎌倉ユニットの会員と鎌倉の様々な個人や団体が相互乗入れで協働する組織。自身も湘南ロシア倶楽部を主宰する菅原さんが仕掛人だ。

鎌倉会の会員は趣味を通して地域で活動し、広いネットワークを持つ人が多い。これが鎌倉会の味噌だ。そして、鎌倉ユニットの長所でもある。

地域活動に関心を持つ読者に助言をいただいた。

まず、同じ地域の会員を探して交流する*。

次に趣味を持つこと、地域にある趣味の教室や同好会はその地域への入口。

そして、楽しみながらそれらネットワークを拡げて行くのが王道。

鎌倉在住者以外にも広く門を開く鎌倉会への体験入会を歓迎する。そこで地域交流がどんなものか感じてほしい。

談：菅原信夫（1150）

* 同じ地域の会員情報は地域デザイン通信担当者にご相談下さい。

◆ ◆ 私の推し街 連載 ◆ ◆



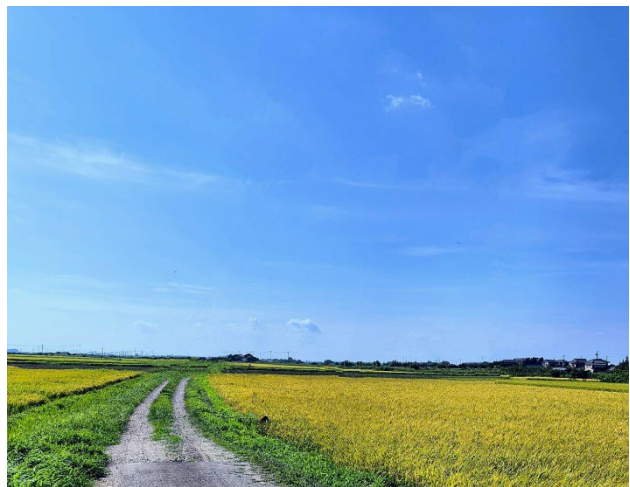
佐原で育まれた思い 千葉県

小西明子（1521）

私の好きな織田信長の舞に「人間五十年、下天の内をくらぶれば、夢幻の如くなり」という一節があります。儂くもあり、自分の人生とは何ができるのか考え続けさせてくれた言葉でした。また、私の地元出身の伊能忠敬は、日本地図を50歳から計測し、世に残した歴史的人物です。私の解釈として50歳になったら自分のやりたい事をやるんだと決意していました。

佐原はJR成田駅から銚子駅に向かう途中の中間地点、江戸の台所とも言われた米所で、利根川を利用して栄えた小江戸の雰囲気が残る情緒ある場所です。身近な観光スポットとしてテレビでも紹介されるようになりました。

実家は米農家でしたが、父の代で農家は廃業し、実家の田んぼも、休耕地として雑草が群生しています。もう一度、秋に稲穂の垂れる田園風景を取り戻したい、それが私のやりたいことのひとつになっています。



佐原の田園風景 撮影：小西明子

それが、地元・佐原が育んでくれた思いです。



《イベントのお知らせ & 報告》

・10月18日～19日 10:00～16:00@都立木場公園
北陸プロジェクトが支援している森本敬一氏が「江東区民祭り」で能登の物産販売と能登地震の写真展示を行います。

・10月28日～30日 出雲地方視察旅行

(観光立国研究会、日本酒文化研究会、地域デザイン本部共同企画)

出雲市観光大使の段谷芳彦会員、出雲市在住の常松宏祥会員のアレンジで市役所、出雲大社、地元酒造メーカー、酒造の神様を祀る佐香神社、世界遺産の石見銀山を訪問予定。DFがどのような形で地域に貢献できるのかを探ります。

問い合わせ先：ご意見、感想、お問合せなど下記までお寄せください。お待ちしております

dfchiiki-tsushin@directforce.org

編集部：小島千代美・松瀬高志・宮武里美・岡田知之

「趣味は地域への入口」とは新しい切り口です。ご関心のある方、鎌倉会の門を叩いて体感されてみてはいかがでしょうか（編集後記 M）

地域デザイン通信 バックナンバーはこちら <https://directforce.net/regional-design/> ページの一番下までスクロールしてください。